



埼玉支部報 第21号

【目次】

平成29年度埼玉支部総会報告	1	5月第4回「大高取山自然観察会」	9
平成29年度埼玉支部役員名簿	3	5月四季の山春山・女峰山山行に参	12
埼玉支部規約の改定	4	加して	
4月第7回「ふれあい登山」実施報告	4	平成29年度年間山行計画	14
4月上州三峰山に参加して	6	登山保険に加入しよう！！	15
4月高尾グリーンセンター森づくり体験	7	会員/会友在籍者数及び異動	16
研修会事業報告		事務局からのお知らせ・お願い	16

平成29年度日本山岳会埼玉支部 通常総会報告

埼玉支部支部長 松本敏夫

日本山岳会埼玉支部の平成29年度通常総会は4月15日(土)13時30分より、埼玉会館4階A会議室において、在籍会員数134名のところ、39名の出席および委任状79名(合計118名)で、埼玉支部規約第14条の規定に従い総会は成立・開催されました。以下に概要



を報告いたします（詳細は通常総会資料および議事録を参照下さい）。

平成28年度事業報告では、埼玉支部が開催した支部委員会、山行、行事、講演会・講習会、自然観察会、森づくり（年3回）、「埼玉の自然を知ろう」シンポジウムなどの概要が報告されました。埼玉県障害者スポーツ協会と共催で開催した障がい者およびその家族と共に登山を楽しむ「ふれあい登山」は越生町の大高取山で56名の参加があり、越生町教育委員会の後援により越生町民および他支部からも多数参加する「大高取山自然観察会」は27名の参加で開催され、埼玉支部活動を特徴づける代表的な公益事業となっております。

一方、多様な会員のニーズを考慮して山城・コースなどを選定した月例山行や「四季の山」に、毎回、10～20名の参加者があり、鹿沼岩山の岩登り講習、霧ヶ峰・蓼科山の冬山講習、海外登山では台湾で七星山・基隆山・麟趾山・鹿林山を登り、多くの会員の皆様と共に多様で広範囲な山を安全に楽しむことができました。

安全登山では、白根御池小屋管理人（高妻潤一郎会員）及び埼玉県警察山岳救助隊・飯田副隊長による山岳遭難事故防止に関する講演会、ハイキングレスキュー・山岳遭難時の救急処置・救急救命講習を実施しております。

埼玉県山岳連盟と共催した「山の日」施行記念事業では、武甲山登山および講演会&コンサート、秩父夏休み親子キャンプを実施し、一般登山者とその家族および埼玉岳連加盟の山岳会との懇親を深めることができました。平成28年度収支決算報告が会計担当より、監査報告が監事からありました。また平成29年度支部役員名簿（新任は渡邊嘉也会員、米山英三会員の2名）、平成29年度収支予算案が提案され、各々原案通りに承認されました。

平成29年度事業計画では、各委員会から年間活動計画が提案され、埼玉支部の年間活動計画が承認されました。準会員制度の活用および山行委員会、自然保護委員会、社会貢献委員会、安全登山委員会による支部活動を通して新入会員の増加に対する取り組みを推進する予定です。

支部規約の改定では、準会員に関する項目の追加が承認されました。また、準会員制度の発足に伴い埼玉支部会友制度を3年後に廃止する方針が了承されました。

その他として、埼玉支部ホームページの利用について概要が報告され、平成28年度埼玉支部の活動状況に関するアンケート調査結果に基づき、会員の活動状況の現状分析が報告されました。

最後に、支部運営の効率化（郵送費の削減等）の一環として、会員に対する支部報郵送をメール添付および埼玉支部ホームページへの掲載に変更可能か否かについて提案があり、総会参加会員のへの可否の調査の結果、多数の会員から変更可能の意思が示されました。総会に参加できなかった会員には、後日ハガキ郵送により支部報郵送に関する可否を調査することになっております。

会員活動の活性化・広域化および出来るだけ多くの会員が参加できる多様な支部活動のためには、公益事業の充実並びに多様性のある選択可能な山行が重要な役割を果たすものと推測されます。日本山岳会（本部・各委員会）、YOUTH CLUB、埼玉近県の各支部、埼玉県山岳連盟、埼玉県障害者スポーツ協会、越生町などとの緊密な協力関係を継続・強化することが必要と考えられます。会員一人ひとりが役割を分担し、支部運営に参画することで、有意義なクラブライフを楽しんで頂ければ幸いです。

平成 29 年度埼玉支部役員名簿

氏 名	会員番号	役 職
松本 敏夫	12,047	支部長
野村 孝義	5,288	副支部長
高橋 努	14,627	副支部長兼山行委員長
古川 史典	15,546	事務局長兼総務委員長兼広報委員長
石塚 昌孝	14,883	会計
大久保 春美	7,249	社会貢献委員長
高嶋 徳紘	9,626	自然保護委員長
山崎 保夫	14,954	山行副委員長
宮川 美知子	13,795	安全登山委員長
龍 久仁人	12,446	支部委員
稲越 洋一	14,647	広報委員会ホームページ担当
多田 稔	13,959	支部委員
渡邊 嘉也	13,916	自然保護副委員長
米山 英三	15,838	支部委員
中村 直樹	12,654	監事
朝日 守	12,160	監事

16名

規約の改定

以下の規約を、平成29年度公益社団法人日本山岳会埼玉支部総会で承認を得、改定致しました。この規約は、公益社団法人日本山岳会埼玉支部ホームページに掲載しております。

<http://www.jac.or.jp/saitamasibu/index.html>

第7回ふれあい登山(4/9)

桜に出会えて大満足！

社会貢献委員会 大久保春美

今年のふれあい登山は、時々小雨が降る中での登山になりましたが、歩きとおした我々を迎えてくれたのは満開の桜でした。集合写真のみんなの笑顔には達成感と幸福感が満ち溢れていました。山の高さは低いですが100人近い大登山隊が、怪我もなく楽しく登山を終えることができたのはJAC埼玉支部のチーム力によるものだと思います。ふれあい登山の実施責任者として、参加された会員の皆様には心より御礼を申し上げます。

概要を報告します。



笑顔集合

平成29年4月9日(日)、埼玉県障害者スポーツ協会と共同主催による第7回ふれあい登山は、障がい者(25人)付添(26人)JAC(31人)スポーツ協会(1人)その他(8人)で計91人の参加があり、飯能市の天覧山(195m)と多峯主山(270m、とうのすやま)に登りました。障がいの内訳は、知的障がい(22人)視覚障がい(1人)肢体不自由(1人)精神障がい(1人)でした。



桜も応援

コースは、東飯能駅西口 9:40 出発～天覧山中段(開始式)～天覧山～多峯主山～吾妻峡ドレミ橋～飯能河原 14:55 着(終了式)～東飯能駅・飯能駅解散となりました。最年少は8歳、



飛び石を渡り

最高齢は82歳の支部会員で、全体的に若い世代は障がい児・者と家族、高齢は支部会員が占めていましたが、これだけ年齢幅が広い人達と過ごす一日は特別な幸せ感が漂っているような気がしました。冒頭に「チーム力」と書きましたが、山の専門家としての支部会員は安全で楽しい登山のために力を注ぎ、また多様な障がいに対応できる障がい者スポーツ指導者は、支部会員の足りない部分を何気なくフォローする姿があり、そこには回を重ねたふれあい登山としてのチーム力がありました。

最後に苦言を呈するようで恐縮ですが、今回は会員の行動で気になった出来事がいくつかあり、いずれも相手方目線（運営側や参加する障がい者の立場になった会員としての視点や発想）の不足と思われ、伝えることも必要かと思ひ書かせていただきました。

準備の過程において、最初は社会貢献委員会と障がい者スポーツ協会とで形を作っていきますが、最後は当日（本番）に支部会員を含めて参加者全員がふれあい登山を作り上げていくものだと思います。これは、すべての支部事業においても同様だと思います。すべての会員がそれぞれの責任を果たす努力とマナーを守って会の事業に参画することが大切だと思います。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

総会記念山行

上州三峰山 山行に参加して(4/16)

[山行グレード☆]

関口 素子

勝山様、清登様に紹介していただき 4 月から日本山岳会埼玉支部に入会することができ、さっそく 4 月 16 日（日）の山行に参加いたしました。

この日は、4 月には珍しく 25 度の予報が出ていましたが、上州ということで春山登山の準備をして出かけることとしました。初参加なので、皆様のお顔も集合場所の若葉駅も初めてで、やや緊張した気持ちで若葉駅に着きましたが、既に登山姿の男女が 5~6 名集まっていたので恐る恐る挨拶をすると感じよく返事が返ってきてまずほっとしました。

大宮からスタートしたバスが着き合流、予定の 8 時より少し早めに出発。バスは鶴ヶ島 IC から関越道で月夜野 IC へ、途中進行方向の右側に台形の三峰山が見えた。高速を降りてからは、バスはすれ違うことも困難そうな、やや狭くて倒木が見られる林道を進む。河内神社駐車場で下車、全員で準備体操をした後、10 時頃登山口出発、河内神社でまず記念写真を撮る。そこから三峰沼へ向かう。11 時 40 分穏やかで風もなく静かな沼には鯉が数匹泳ぎ、水面からは渡り鳥が飛び立っていった。しばらくこの辺りで寝そべっていたい気分になった。



上州三峰山（1123m）山頂

ここから頂上まで 3.1 キロ。ところどころ残雪があり滑らぬように注意しながら歩く。3.1 キロとあったがここからが大変だった。この山は追母峰、吹返峰、後閑峰という三つの峰からなる横長のテーブルマウンテンなのだ。後閑分岐からあと 1.6 キロの道標を見て、もうすぐだ！と思いきやそこからの登り下りの繰り返し、今度こそ頂上かなと思っても、「なーんだまだか」

と、お腹もすき始め少し心が折れそうになった。その時、誰かが

「おお一頂上だぞー」と叫んだ。ホッとした。13時山頂到着。

山頂からは残雪の谷川連峰が絶景だった。昼食後、写真撮影をして下山開始13時40分。



水芭蕉

雪道を慎重に降りる。目印の赤いリボンが少なく、残雪のせいかわかりにくい登山道の後閑林道、町営温泉を目指す。山の中にはまだ草花はほとんど見られなかったが、後閑林道に出たからは、ネコヤナギ、ツクシ、スミレ、ヨモギの葉など春を感じる草花を見ることができた。林道に出てから1キロで15時30分町営温泉三峰の湯到着。360円で露天風呂もあり、湯はつるつるとしたなかなか良

い温泉だったが、アルコール類は販売していない。湯上りに一杯といきたいところだった。

16時25分出発。バスで月夜野ICに入る前にコンビニにより各自、好きな飲み物、おつまみを調達し、車中で待ってましたかの様にミニ宴会が始まる。楽しい車中となった。高速は順調で若葉駅には19時到着。

今回の山行は、久々に残雪の上を歩いたり、変化のある登山道でいろいろと楽しめました。また、80代の方が何人か参加されていて、すごいと思いました。私も80代まで登山を続けられたらいいなと思っています。

お世話になりました。これからもどうぞよろしく願いいたします。

第3回高尾グリーンセンター 森づくり体験研修会事業報告書(4/29・30)

自然保護委員会

主催者—(公益社)日本山岳会埼玉支部-自然保護委員会

開催年月日—平成29年4月29日(土)・30日(日)

開催場所—高尾グリーンセンター(八王子市南浅川町)及び隣接国有地

参加者—自然保護委員会—高嶋徳紘・龍久仁人・藤野欣也・渡邊嘉也・小池鉄男・多田稔・

村越百合子・石塚昌孝・朝日守

すかんぼの会—太田和子・奈良菊江

グリーン倶楽部会員—加藤信夫・宮田由香里・城定睦 計14名

・29日午前

—樹齢50年生の檜林の間伐研修

グリーン倶楽部から軍手・ヘルメット・鋸・鉋が貸与され10時30分開会式、高嶋自然保護委員長開会挨拶、龍グリーン倶楽部代表から研修内容説明の後、間伐研修に入る。センター西側の樹齢50年近くの檜林の間伐作業現場に移動、小池班・加藤班に分かれ研修作業を実施した。



高尾グリーンセンター開所式

・29日午後

－西尾根に至る径づくり研修

先頭が大鎌で草木を切り払う、トビで枯木・石などの障害物を取り除く、次に径づくり用の分厚く重い鍬で径の形を造る、最後に、長鋏で弦・小枝など障害物を取り除く。

・夕食は屋外のバーベキューコーナーで

恒例のバーベキューが始まる。プロの加藤シェフの料理に満たされ、ビール酒がすすみ、皆が談笑のひと時を過ごす。

・30日午前

－檜林に繁茂するアオキ刈り取り研修

センターの前を通る、三沢峠に至る関東ふれあいの道沿いの右斜面に広がる、アオキの刈り取りを横一列に並び斜面を登りながら、手鋸・鉋・大鎌を使い刈り取った。

・30日午前～午後

－南高尾自然観察会

観察会コースは、センターから三沢峠に至る関東ふ



径作り

れあいの道の右側の稜線を西山峠に至り昼食とし、そこから三沢峠に向い、関東ふれあいの道を下りセンターに下山するコースで行われた。南高尾植物HPには自生する植物の種類が1600を超える数が確認され、その数はイギリス全土で自生する種類の数に匹敵するとある。高尾山で最初に発見された植物も多く、その数はタカオスマレ、タカオヒゴダイなど60数種類とあるが、当日の観察会で、観察担当-村越の記録にはコクサギ、スマレ、フデリンドウ、ウラシマソウ、ナルコユリ、クサイチゴ、シャガ、トウゴクサバノオ、ヒメコウゾ、ヤマルリソウ、サルトリイバラ、チゴユリ……、限られた時間で50種近い数にのぼっている。

巨大都市東京の奇跡と云える「緑のオワシス」を守るため、森づくりに汗を流し、類まれな高尾の自然観察を今後も続ける事としたい。15時解散

平成29年第5回大高取山自然観察会事業報告書 (5/14)

開催日-5月14日(日)集合場所-法恩寺 受付時間-8時30分~9時

主催-日本山岳会埼玉支部(事業担当-自然保護委員会) 後援-越生町教育委員会

開会式-9:30 龍久仁人氏より司会進行

- ・開会挨拶-自然保護委員長 高嶋徳紘
- ・来賓挨拶-越生町長 新井雄啓様 越生町教育委員会 石川久明様
- ・ご紹介者-越生町教育委員会 近江哲、越生町郷土史研究家-金子和弘
本部自然保護委員長 川口章子、多摩支部自然保護委員長 河野悠二
埼玉支部長 松本敏夫、事務局長 古川史典、救護班 医師金子宏

班確認編成

- 1班(地学班) 実行委員長高嶋徳紘・※藤野欣也・金丸一豊・川口章子・河野悠二・岡義男・堀江伸子・石川久明・大室晶久
 - 2班(植物班) ※小池鉄男・石塚昌孝・加藤信夫・北原周子・松本利枝
 - 3班(史学班) ※松本敏夫・横山真一・近江哲・神田美恵子
 - 4班(植物班)※中村直樹・吉田寛治・沖川三郎・小河今朝美・木村俊夫・田島芳康・田島悦子
 - 5班(植物班) ※多田稔・渡邊嘉也・石岡慎介・榎本絹枝・今井茂子・金子典子・佐藤恵
 - 6班(植物・史学班) ※龍久仁人・鴨志田隼司・横田稔・福島優子・金岡〇〇
医療班(6班に待機同行)-金子宏・宮川美和子・熊谷友昭
- 進行管理 古川史典・朝日守 埼玉支部※-班長 合計42名
ラジオ体操-越生町ラジオ体操会-公認ラジオ体操指導員-金子典子、及び朝日



越生町法恩寺山門前

観察会ルート&タイムスケジュール 一法恩寺→大高取山→幕岩→虚空蔵尊→法恩寺
法恩寺発—9:30(1班~出発) 高取城址10:15 白石様11:00(15分休憩)
—出発—11:15分 幕岩・大高取山分岐を右へ 11:45通過し稜線に至り、
※分岐を右に

大高取山へ 大高取山12:00(昼食)—出発—12:30 ※に戻る、幕岩への下り径
の標識あり 幕岩展望台 12:45(10分休憩) 幕岩前を通り虚空蔵尊へ 虚空蔵尊
13:40(トイレタイム)

—出発—14:00 法恩寺到着14:40(最終尾は15:00頃到着予定。15時前に全員
到着する)

閉会式15:00

・閉会挨拶 自然保護副委員長 渡邊嘉也 この後、開会式でご紹介の松本支部長はじめ、
各位からお言葉を頂戴した。

今年のコースは春開催にてユズの無い桂木観音には行かず、幕岩に降り幕岩の前を通り、
林道から虚空蔵尊桜公園に至るルートを使った。昨年10月、第2回森づくりの午後から
の自然観察会でこのルートを歩き、従来コースと違った谷筋のルートで、御荷鉾緑色岩が谷
川の底に、チャートが頭上に奇岩となって存在感をかもし、いたるところに碎石と土が混ざ
りあった地すべりの壁が見え隠れしている。従って湿度も高く、イワヒメワラビ、フモトシ
ダなど暖地性シダの多い谷であり、新たな発見があった。

以下に、アンケート集計結果及び写真を添付し事業報告と致します。
参加者、関係各位に深く感謝を申し上げます。



講師説明

アンケート集計結果（回収数27） *複数回答有 未回答有

1. 大高取山自然観察会を、何で知りましたか？

- | | |
|--------------------------|-----|
| ① 公益社団法人日本山岳会埼玉支部のホームページ | 11名 |
| ② 同 埼玉支部員又は会友からの情報 | 8名 |
| ③ 同 案内チラシ | 1名 |
| ④ その他（越生町広報・新聞） | 7名 |

2. 観察会の資料について

- | | | | | | |
|-------------|----|---------|-----|------------|----|
| ①資料の中身が多すぎる | 0名 | ②適当である | 27名 | ③少ない | 0名 |
| ④中身のグレードが低い | 0名 | ⑤ちょうど良い | 27名 | ⑥グレードが高すぎる | 0名 |

3. 観察会の行程は適切でしたか？

- | | | | | | | | |
|--------|----|---------|-----|--------|----|------|----|
| ①時間が長い | 0名 | ②ちょうどよい | 19名 | ③物足りない | 8名 | ④その他 | 0名 |
|--------|----|---------|-----|--------|----|------|----|

4. 貴方の興味がある分野は

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 歴史・文化など文化人類学分野 | 8名 |
| ② 植物分類学などの分野 | 12名 |
| ③ 地学などの地質・地形・断層などの分野 | 11名 |
| ④ 野鳥・昆虫・魚類など | 3名 |

5. 毎年この地で定点観察会を実施しています。次回には

- | | | | | | |
|-----------|-----|----------|----|--------|----|
| ①参加を考えている | 25名 | ②もう参加しない | 0名 | ③内容による | 2名 |
|-----------|-----|----------|----|--------|----|

●感想・ご提案・ご意見をどうぞ！

- ・ 観察山行は勉強になった「越生の自然」有難うございました（多数あり）
- ・ 楽しかった・ユズの季節にもやってほしい（13名）
- ・ 山登りの楽しみ方が変わった（7名）
- ・ 準備がよく安心して参加できた（3名）
- ・ 地質学分野のレクチャーを受けながらの山行きは初めてだった（1名）
- ・ 春の植物がたくさん見られて良かった（3名）

集計日 平成29年5月17日

四季の山・春山に参加して

「表日光連山・女峰山～大真名子山縦走」 (5/20・21)

[山行グレード☆☆]

東 洋子

日程：平成29年5月20日（土）～21日（日）

目的の山：女峰山 2483m、帝釈山 2455m、小真名子山 2323m、大真名子山 2375m

参加者：吉田、菊池、野口、小島、宮川、山崎、東、岡山 8名

[5月20日（土）] 晴れ かなりの日差し

9:20 東武日光駅待ち合わせ。 10:15 東と日光三本松茶屋で合流。

10:40 光徳・梵字飯場跡駐車場で身支度・各々体操をして出発。（林道を歩く）

11:30 太郎山林道分岐（標高 1637m）通過。

12:20～40 志津乗越で昼ご飯。

13:40 馬立、ここより登山道。

15:25 きつい急な坂で水汲み（10分）。周囲には雪も残る。

16:50 頃 唐沢避難小屋（標高 2225m）着。

到着時には私たちグループのみ。その後単独の男性が3人到着。

18:00 頃 寝る準備をして夕食。皆がそれぞれ持ってきたお酒とつまみで宴会。

20:00 消灯・就寝。

[5月21日（日）] 晴れ 朝は冷えたが 日中はかなり暑い

4:00 過ぎ 起床・朝食・身支度。

5:30 出発（女峰山山頂に向けて）ハイマツの中を登る。

6:30 女峰山（2483m）着。山頂より急な尾根を下り、雪庇の残骸が残る痩せ尾根をたどる。

7:17 鎖場を越え専女山通過。

7:40 帝釈山(2455m)着。ザレた下り（男体山と同じ山道）の後、締まった雪道を快適に下る。

9:05 富士見峠（2036m）着。後続を待つ。

10:40 小真名子山(2323m)着。小真名子山へのザレた山道とその後の雪で歩きづらい山道は思っていたより時間がかかった。

11:40 小真名子山と大真名子山のコル鷹ノ巣(2110m)で昼食。

12:10 鷹ノ巣を出発。深い雪に足を取られ登りづらい。時間がかかる。

13:50 大真名子山 (2375m) 着。記念写真を撮り暫し休息。

14:10 下山開始。鉄ハシゴと鎖の有る千鳥返しを下り、志津乗越へと下る。

16:10 志津乗越着。全員無事に下山できて握手。

17:30 梵字飯場跡駐車場着。17:50 解散。



大真名子山 (2375.4m) 山頂

たいへんお世話になりました。

男体山は2度神社から登ったことはありましたが、女峰山は初めてで、その上小真名子～大真名子山への縦走で体力的にも自信がなかったのですが何とか歩いて、皆さんにもご迷惑をかけずに済み良かったです。

5月にしては暑い！晴天に恵まれて歩き易いか・と期待していたのですが、残雪が深く腐った雪の踏み抜きで消耗しました。

しかし、女峰山山頂からや次々と登り進む山頂からの眺望が素晴らしく、日光白根山や隣の男体山そして遠くに見える真っ白な平ヶ岳などの景色を堪能しました。

途中の山々の木々も白樺やダケカンバの林からシラビソや唐松と変わり、駐車場近くでは咲いていたシャクナゲが小真名子山や大真名子山ではたくさん見られました。もう少しすると満開になるのでしょう～

素晴らしい山行をありがとうございました。

平成29年度 年間山行計画	山行委員会
----------------------	--------------

年間計画	対象の山・コースなど	グレード	日程	予定人数	備考
4月	総会記念山行 上州三峰山 残雪の谷川岳展望 (終了)	☆	4月16日 (日)	30	貸切バス 利用
5月	四季の山 春山 女峰山・小真名子・大真名子 (1泊2日) ハクサンシャクナゲ咲く霊峰・200名山	☆☆	5月20日(土) ~21日(日)	8	避難小屋 泊 乗用車 利用
6月	月例山行 二子山—武川岳 新緑の秩父ハイキング	☆☆	6月4日(日)	15	電車利用
	沢登り (初級) 西沢・沢胡桃沢 美しいナメ沢を登る(グレード3級)	☆☆☆	6月11日 (日) (早立ち)	10	乗用車利 用 平川ガイド
7月	月例山行 平ヶ岳(伝之助小屋宿泊) (1泊2日) 中ノ俣ルートで宿から日帰り	☆☆	7月1日(土) ~2日(日)	15	乗用車利 用
8月	四季の山 夏山 鳥海山 (2泊3日) テント泊で100名山を楽しむ	☆☆	8月4日(金) ~ 6日(日)	12	乗用車利 用
8月	山の日 イベント 未定 埼玉県岳連イベント	☆	8月11日 (金)		
9月	月例山行 箱根・明神ヶ岳、明星ヶ岳	☆	9月2日(土)	15	電車バス 利用
10月	月例山行 天城山+温泉宿泊 (1泊2日) 100名山と温泉	☆☆	9月30日 (土)~10月 1日(日)	15	乗用車利 用
	岩登り山行 未定	☆☆☆	10月15日 (日)	10	乗用車利 用 平川ガイ ド
	3支部懇親山行 神奈川支部担当	☆	未定		
11月	四季の山 秋山 十字峠から白泰山、栃本 (1泊2日) 静かな上州の名コース	☆☆	11月3日 (金)~4日 (土)	15	電車、タク シー利用
12月	忘年山行 小高山(正丸峠) (1泊2日) +忘年懇親会(休暇村・奥武蔵)	☆	12月9日(土) ~10日(日)	30	電車利用
1月	新年山行 スカリ山・日和田山 +新年懇親会(飯能)	☆	1月13日 (土)	30	電車利用

2月	四季の山 冬山	未定 (1泊2日)	☆☆☆	2月17日(土) ~18日(日)	10	乗用車利 用
3月	月例山行	未定	☆	3月3日(土)	15	
特別	海外ツアー	ハワイ・トレッキング(6泊7日)	☆及び ☆☆	1月22日(月) ~28日(日)	10	コンドミ ニウム泊

登山保険に加入しよう!! (登山保険のご紹介)

登山に事故はつきものと言われるますが、残念ながらその通りです。日頃からトレーニングし、安全登山講習会に参加し、装備は万全を期して登山中は細心の注意を払って・・・それでも事故は起こります。そこで最後には登山保険が必要となります。

登山保険は自分のためだけでなく同行者のためにも必ず加入する必要があります。

万一、未加入であればこの機会に是非とも加入をご検討下さい。

なお、埼玉支部では支部山行の参加は登山保険加入が必須条件です。

	名称	引受会社	死亡補償	入院補償	救援者費用	遭難捜索費用	個人賠償責任	加入条件	加入方法
1. 年間契約で加入するタイプ									
1	日本山岳会団体登山保険	東京海上日動火災保険	○	○	○	○	○	会員	東海日動パートナーズ 03-5637-1611
2	JMA山岳保険	山岳共済会			○	○	○	共済会員	県岳連
3	モンベル野外活動保険	富士火災海上保険	○		○	○	○	モンベル会員	モンベル店
4	レスキュー保険	日本費用補償小額保険			○	○		無し	ゆう貯払込票
5	JRO通称ジロー	日本山岳救助機構	○	○	○	○		会員	ゆう貯払込票
2. その都度加入するタイプ									
6	モンベル山行保険	富士火災海上保険	○	○	○	○	○	モンベル会員	ネット申込
7	ドコモワнтаイム保険	引受保険会社	○	○	○	○	○	無し	

* 保険内容の詳細は、各保険のパンフレット等でご確認ください。

埼玉支部会員/会友在籍者数及び異動

平成 29 年 6 月 8 日現在

会員	133 名	会友	11 名	計	144 名
----	-------	----	------	---	-------

【入 会】

会 員			会 友		
16145	関口素子	4 月			

【退 会】

会 員			会 友		
12378	遠山元信	3 月			
15909	遠藤俊博	3 月			
15772	川崎貴弘	6 月			

事務局からのお知らせ・お願い

1、山岳保険（任意）への加入について

支部規約第 7 条第 3 項において「支部会員、準会員及び支部会友は山岳保険に加入しなければならない。」とあります。そこで、未加入の場合は、加入をお願いいたします。加入されましたら、その加入保険会社等の名称をご連絡下さい。

参考：「**登山保険に加入しよう！！（登山保険のご紹介）**」をご覧ください。

連絡先：事務局長古川史典 f8008pk@rock.odn.ne.jp 090—3219—0860

2、支部報等の E メールないしホームページでの閲覧する方法の変更について

4 月にお問い合わせのハガキを郵送いたしました。回答のない方がおられます。早急にご回答いただければ幸いです。

回答先：事務局長古川史典 f8008pk@rock.odn.ne.jp 090—3219—0860

3、平成 29 年度支部会費納入について

支部会費納入期限が 6 月 30 日となっております。そこで、次の支部口座へお振込みいただければ幸いです。

(1)会費：①会員 2,000 円 ②会友 3,000 円③家計を同じくする者 1 人 1,500 円

(2)払い込み先：郵便局 口座記号 00140—7—

口座番号： 374281

加入者名：公益社団法人日本山岳会埼玉支部

(3)お問い合わせ：会計担当 石塚昌孝 purestone@kxf.biglobe.ne.jp

電話 090-7234-8077

4、住所、電話、メールアドレス等変更がありましたら事務局にご連絡をお忘れなく。

公益社団法人日本山岳会 埼玉支部報 第 21 号

平成 29 年（2017）6 月 15 日発行

発行者：公益社団法人日本山岳会 埼玉支部

支部長 松本敏夫

事務局：350-0312 埼玉県比企郡鳩山町鳩ヶ丘 1-25-10 古川史典方

電 話：090-3219-0860 Email: f8008pk@rock.odn.ne.jp

埼玉支部ホームページ：<http://www.jac.or.jp/saitamasibu/index.html>